

令和5年度区民税と保険料の収納状況 及び 令和6年度収入見込みについて

1

収納対策本部 税・保険料検討部会

特別区民税 収納状況等について

2

令和5年11月末の収納状況

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額		収入額		収納率		11月末の状況	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	調定額：前年同期比	
	32,729	33,575	20,977	21,492	64.09%	64.01%	収入額：前年同期比	+2.5%
増減		846		515		▲0.08pt	収納率：前年同期比	▲0.08pt

令和5年度の主な取り組み

(1) デジタル化の推進による区民の利便性向上と業務効率化

- ① 電子マネー納税に楽天ペイを導入【NEW!】 ➡6月導入済み
- ② キャッシュレス決済の周知強化（納税通知書、督促告、HPや広報としま等を活用して納付手段を周知）
- ③ 財産調査を一部デジタル化し、預金調査を紙（1万件）と電子（2万件）両面で実施（11月末現在）。大幅に業務効率化を実現。

(2) 外国人滞納者への制度周知と滞納対策強化

- ① 立教大学と協働による「やさしい日本語」で催告書封筒・チラシを作成【NEW!】 ➡反応率25%アップ!
- ② 区共催の日本語教室等が集まる「日本語ネットとしま」に参加し制度周知のチラシを配布【NEW!】
- ③ 入管と連携し、催告書の封筒に入管のロゴ挿入、入管のチラシを同封し、催告効果を高める。

(3) 期限内納付に向けた催告強化と債権管理適正化

- ① 「ナッジ理論」(*)による口座振替チラシ改善【NEW!】 ➡申込件数50%アップ!
- ② サービサーによる区外転出者等状況調査の実施【NEW!】 ➡1件5,500円で全国どこでも訪問催告!
- ③ 視覚効果の高い催告書の作成（テレビでも本区の催告書封筒が取り上げられた）
- ④ 納付案内センターの活用による電話催告・訪問催告の実施
- ⑤ 滞納を長期化させないための早期調査・早期処分の実施と適正な執行停止・不納欠損の実施

(4) 生活支援型滞納整理の継続

- ① 生活困窮者への支援と納税の両立を図るため、福祉総務課と生活再建に向けた連携を強化

※「ナッジ理論」=行動を強制するのではなく、何らかのきっかけを与えることで、自主的な行動変容を促す手法・戦略のこと。
 (例)「節電のためエレベータを使わないで」ではなく「健康のため階段を使いましょう(^^)」と言い換える。

特別区民税 収納状況等について

令和5年度 決算見込

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R5決算見込の試算方法
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	31,856	32,967	33,806	31,074	32,256	33,102	調定額は11月末実績に昨年度実績における決算までの伸び率を掛けて試算。 収納率は昨年度実績から予測。これらを基に収入額を試算。
増減		+1,111	+839		+1,182	+846	
<内訳>							
現年分	調定額			収入額			●収入額 現年・滞繰の合計は、33,102百万円を見込む。 前年比 プラス2.62% 846百万円の増と想定。
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	31,025	32,306	33,161	30,698	31,957	32,811	
増減		+1,281	+855		+1,259	+854	
滞繰分	調定額			収入額			
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	831	661	645	376	299	291	
増減		▲ 170	▲ 16		▲ 77	▲ 8	

※ R3年度、R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。

特別区民税 収納状況等について

令和6年度 予算案

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R6当初予算の試算方法
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	32,967	33,806	33,033	32,256	33,102	32,306	R4年11月実績とR5年11月実績を比較した際の伸び率を基に調定額を試算。主として、定額減税等の影響予測を加味している。 収納率をR5年度決算見込から予測し、収入額を試算。
増減	+1,111	+839	▲ 773	+1,182	+846	▲ 796	
<内訳>							
現年分	調定額			収入額			●収入額 現年・滞繰の合計は、32,306百万円を見込む。5年度決算見込額と比べ、マイナス2.40% 796百万円の減と想定。
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	32,306	33,161	32,407	31,957	32,811	32,043	
増減	+1,281	+855	▲ 754	+1,259	+854	▲ 768	
滞繰分	調定額			収入額			
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	661	645	626	299	291	263	
増減	▲ 170	▲ 16	▲ 19	▲ 77	▲ 8	▲ 28	

※ R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。R6年度は当初予算案。

特別区民税 収納状況等について

調定・収入（見込）の推移



国民健康保険料 収納状況等について

6

令和5年11月末の収納状況

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額		収入額		収納率		11月末の状況	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	調定額：前年同期比	
	10,244	9,881	4,458	4,518	43.52%	45.73%	収入額：前年同期比	+1.3%
増減		▲ 363		60		+2.21pt	収納率：前年同期比	+2.21pt

令和5年度の主な取り組み

- (1) 外国人滞納者対策の強化
 - ① 入管と連携した「協力要請スキーム」の本格実施。スキームの効果検証、課題整理等の実施【NEW！】
 - ➡スキーム対象者の収納額が昨年1年間と比較して、約9,000万円増加（12月末時点）
 - ② 職権消除者、転出先不明者について、債権回収可否の早期判断により、時効不能欠損を抑制
 - ➡調査による不能欠損額が前年比約2.3倍で推移
- (2) 新たなアプローチによる徴収強化
 - ① 過去未接触の滞納者について、臨戸等の実施（職員）や、就労先への架電（納付案内センター）を検討【NEW！】
 - ➡臨戸6件、搜索1件実施
 - ② 財産調査のデジタル化（ピピットリンク導入検討）【NEW！】 ➡新拡提案（全額採択）
- (3) 口座原則の徹底
 - ① 国保加入時・納付相談時等の口振手続き勧奨の徹底
 - ➡口座振替PTを開催。周知方法としてホームページのリニューアルを実施
- (4) 調定の適正化
 - ① オンライン資格確認等システムの活用による二重加入疑義世帯の状況確認・資格喪失のさらなる推進
 - ② 住民記録の適正化（住民記録Gでの実態調査負担を軽減するため、納付案内センターの訪問記録等を有効活用）【NEW！】
 - ➡昨年度年間48件の中、12月末時点で262件の適正化を実施
- (5) デジタル化の推進による区民の利便性向上と業務効率化
 - ① 電子マネー納付に楽天ペイを導入【NEW！】 ➡6月に楽天ペイを導入
- (6) 延滞金・還付加算金導入検討【NEW！】
 - ➡税務課収納グループにヒアリングを実施。導入時の必要人員等シミュレーションを実施

国民健康保険料 収納状況等について

7

令和5年度 決算見込

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R5決算見込の試算方法	
	R3	R4	R5	R3	R4	R5		
	10,015	10,121	9,763	7,685	7,927	7,887	調定額は、過去2年の推移より11月末の実績から決算までの伸び率を予測して試算。 収納率は、前年度と今年度の11月末時点の収納率の差を、前年度の収納率に加算して算出。これらを基に収入額を試算。 ●収入額 現年・滞繰の合計は、7,887百万円を見込む。 前年比 マイナス0.5% 40百万円の減と想定。	
増減		+106	▲ 358		+242	▲ 40		
<内訳>								
現年分	7,874	8,282	8,125	6,983	7,286	7,213		
増減		+408	▲ 157		+303	▲ 73		
滞繰分	2,141	1,839	1,638	702	641	674		
増減		▲ 302	▲ 201		▲ 61	33		

※ R3年度、R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。

国民健康保険料 収納状況等について

令和6年度 予算案

8

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R6当初予算の試算方法
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	10,121	9,763	10,297	7,927	7,887	8,367	被保険者世帯の所得階層、被保険者数の推移、特別区基準保険料率（案）等から調定額を試算。都の納付金算定結果により最終調整。
増減	+106	▲ 358	+533	+242	▲ 40	+480	
<内訳>							
現年分	調定額			収入額			●収入額 現年・滞繰の合計は、 8,367百万円を見込む。 5年度決算見込額と比べ、 プラス6.09% 480百万円の増と想定。
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	8,282	8,125	8,986	7,286	7,213	7,908	
増減	+408	▲ 157	+861	+303	▲ 73	+695	
滞繰分	調定額			収入額			※表示単位未満を四捨五入し、端数処理はしていないため、合計と一致しない場合がある
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	1,839	1,638	1,310	641	674	459	
増減	▲ 302	▲ 201	▲ 328	▲ 61	+33	▲ 215	

※ R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。R6年度は当初予算案。

国民健康保険料 収納状況等について

調定・収入（見込）の推移

単位百万円



後期高齢者医療保険料 収納状況等について

10

令和5年11月末の収納状況

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額		収入額		収納率		11月末の状況	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	調定額：前年同期比	
	3,535	3,591	2,063	2,172	58.35%	60.49%	収入額：前年同期比	+5.3%
増減		56		109		+2.14pt	収納率：前年同期比	+2.14pt

令和5年度の主な取り組み

(1) 初期末納者対策（団塊世代への対応）

- ① 75歳年齢到達者の初期末納が増加していることから、
 - ・電話催告において課内応援体制を継続 → 11月 286件架電
 - ・職員による夜間電話催告の実施回数を拡充 → 月1回→2回
- ② 区民ひろば、高齢者総合相談センターへの納付勧奨ポスターの掲示（35か所）【New！】

(2) 口座振替の強化

- ① 国保からの移行予定者に対し、国保課と連携し早期の口座振替申請を促すチラシを封入
- ② 来庁時・電話対応時にペイジー口座振替サービスを積極的に勧奨 → ペイジーの申込件数36%増
- ③ デジタルサインージの活用継続 → 毎月内容をリニューアル

(3) 行政サービスのデジタル化拡大（スマホ決済の種別増）【New！楽天ペイ】

- スマホ決済の利用件数（4月～11月）311件 うち楽天ペイ（6月～11月）37件

(4) 生活困窮者・生活弱者への対応

- 生活福祉課、高齢者総合相談センター、高齢者福祉課等との情報連携を強化 → 情報連携（4月～11月）32件

(5) 延滞金・還付加算金導入検討【New！】 → 他区視察、課題の洗い出し、規程整備検討

(6) 財産調査のデジタル化（「ピピットリンク」導入検討）【New！】 → 新拡提案（全額採択）

後期高齢者医療保険料 収納状況等について

令和5年度 決算見込

11

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R5決算見込の試算方法
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	3,164	3,557	3,595	3,151	3,540	3,568	調定額は目標収納率から試算。 現年収入額は目標収納率を乗じて算出。 滞繰収入額は11月末実績に過去3年平均の伸び率を乗じて算出。
増減		+393	+38		+389	+28	
<内訳>							
現年分	調定額			収入額			●収入額 現年・滞繰の合計は、 3,568百万円を見込む。 前年比 プラス0.7% 28百万円の増と想定。
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	3,145	3,540	3,579	3,140	3,529	3,558	
増減		+395	+39		+389	+29	
滞繰分	調定額			収入額			
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	19	17	16	11	11	10	
増減		▲ 2	▲ 1		0	▲ 1	

※ R3年度、R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。

後期高齢者医療保険料 収納状況等について

令和6年度 予算案

12

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R6当初予算の試算方法
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	3,557	3,595	3,851	3,540	3,568	3,822	東京都後期高齢者医療広域連合が推計した調定額に、これまでの推移から予測した令和6年度の特徴・普徴割合等に乗じて算出。
増減	+393	+38	+256	+389	+28	+254	
<内訳>							
現年分	調定額			収入額			R6・7年度は、2年ごとの保険料率改定のため、R6.1月時点での最終案で算出。
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	3,540	3,579	3,834	3,529	3,558	3,811	●収入額 現年・滞繰の合計は、 3,822百万円を見込む。
増減	+395	+39	+255	+389	+29	+253	
<内訳>							
滞繰分	調定額			収入額			5年度決算見込額と比べ、 プラス7.1% 254百万円の増と想定。
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	17	16	17	11	10	11	
増減	▲2	▲1	+1	+0	▲1	+1	

※ R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。R6年度は当初予算案。

後期高齢者医療保険料 収納状況等について 調定・収入（見込）の推移

単位百万円



介護保険料 収納状況等について

14

令和5年11月末の収納状況

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額		収入額		収納率		11月末の状況	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	調定額：前年同期比	
	4,692	4,672	2,990	2,987	63.73%	63.92%	収入額：前年同期比	▲0.1%
増減		▲ 20		▲ 3		+0.19pt	収納率：前年同期比	+0.19pt

令和5年度の主な取り組み

(1) デジタル化の推進

- ① 楽天ペイの導入（6月）による電子マネー納付の拡充【NEW！】
- ② HPや区報（4課合同）で周知、督促・催告チラシへの掲載、納付案内センターを通じてPRチラシを配布
➡楽天ペイ利用件数（6月～10月）52件 電子マネー6種の利用件数 768件（10月末時点）
- ③ 財産調査のデジタル化（「ピピットリンク」導入検討）【NEW！】 ➡新拡提案（全額採択）

(2) 全課態勢による電話催告（11月実施）

- ① 課内OJTを実施後、介護保険課全正規職員による電話催告を実施
➡R5年度12月末時点 架電対象者 281人（2～6段階） 収納効果 1,967,980円

(3) 滞納整理（引き続き預金を中心に差押を実施、年金と生命保険も継続して実施）

- ➡差押件数 88件（預金 67件、生命保険 5件、年金 16件） 差押金額 8,817,091円（11月末時点）

(4) 口座振替の推進（加入促進キャンペーンの継続、65歳到達者や特別徴収停止者を中心に口座振替勧奨の強化）

- ① 保険証送付時に口座振替依頼書を同封 ➡2,253件（11月末時点）
- ② 特別徴収停止者に口座振替依頼書を1月下旬に送付予定 ➡約1,200件
- ③ 主に65歳到達者を対象に納付案内センターを通じて口座振替勧奨用チラシを配布

(5) 納付案内センターの効果的な活用（65歳到達者や初期未納者を中心に電話・訪問催告を実施）

- ① 現年度滞納者への催告を強化することで、効果的な催告を展開する。

(6) 生活困窮者等の納付相談

- ① 生活状況を丁寧に聞き取り、必要があれば各種相談機関を案内するなど引き続き他部署と連携強化を図り、滞納者の生活の安定に努め累積滞納の防止につなげる。

(7) 延滞金・還付加算金導入検討【NEW！】 ➡導入済の近隣区への聞き取り等

介護保険料 収納状況等について

令和5年度 決算見込

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R5決算見込の試算方法
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	4,659	4,698	4,680	4,496	4,542	4,532	調定額、収入額は、過去の伸び率を基に見込額を算出。
増減		+39	▲ 18		+46	▲ 10	
<内訳>							
現年分	調定額			収入額			●収入額 現年・滞繰の合計は、 4,532百万円を見込む。 前年比 マイナス0.2% 10百万円の減と想定。
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	4,532	4,582	4,567	4,464	4,513	4,501	
増減		+50	▲ 15		+49	▲ 12	
滞繰分	調定額			収入額			
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	
	127	116	113	32	29	31	
増減		▲ 11	▲ 3		▲ 3	2	

※ R3年度、R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。

介護保険料 収納状況等について

令和6年度 予算案

単位百万円

合計 (現・滞)	調定額			収入額			R6当初予算の試算方法
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	4,698	4,680	4,618	4,542	4,532	4,456	調定額は賦課見込み額(各所得段階の被保険者見込数×各保険料額(年額))から公費軽減額を差引いて算出。 ※R6年度からは第9期になることから、保険料改定額により算出。
増減	+39	▲ 18	▲ 62	+46	▲ 10	▲ 76	
<内訳>							
現年分	調定額			収入額			●収入額 現年・滞繰の合計は、4,456百万円を見込む。5年度決算見込額と比べ、マイナス1.7% 76百万円の減と想定。
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	4,582	4,567	4,496	4,513	4,501	4,425	
増減	+50	▲ 15	▲ 71	+49	▲ 12	▲ 76	
滞繰分	調定額			収入額			
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
	116	113	122	29	31	31	
増減	▲ 11	▲ 3	+9	▲ 3	+2	+0	

※ R4年度は決算額。R5年度は決算見込額。R6年度は当初予算案。

介護保険料 収納状況等について 調定・収入（見込）の推移

単位百万円

